



シンポジウム 社会学 v.s. 建築 v.s. アート いま「空間の自由」を問う - 社会 / 建築 / アートの交点 -

2006年9月2日(土) 14:30~17:30 せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア

目次

1. はじめに
2. シンポジウム要旨
 - 1) 「空間管理」のパラドックス
- 「安全」を囲い込めない住空間 -
 - 2) 空間の実践
 - 3) 「パラドックス (概念)」から
「トレードオフ (現実)」へ
3. パネリスト略歴
4. 学際研究会*1
5. 関連出版企画

はじめに

「いま『空間の自由』を問う」というタイトルのもとに開催する本シンポジウムでは、空間の研究／実践／制作に第一線で携わっている方々に徹底した議論を交わしていただくと考えています。

今回の企画の元となった私どもの研究会*1では、社会学、文化研究、住居論、建築計画、メディア論といったさまざまな切り口から、現代社会における空間の変容について批判的に捉え直す試みを重ねて参りました。その結果、今の社会に潜む暴力や抑圧の問題を解明すると同時に、そうした支配に抗う解放の契機や可能性を「空間の自由 (freedom of space)」という視座から論じていくことがなによりも求められている、との認識に至りました。このシンポジウムはそのような場所から産み出されたものです。

開催にあたり、私たちは以下のような思いをシンポジウムに込めています。さまざまな学問／実践／制作の現場において「空間」が注目されている現在、人々が生きる社会的な空間はどのように変容しつつあるのか。そこにおいて「自由である」こととは、いったいなにを意味しているのだろうか。

「空間と自由」をめぐるこうした根本的な問いを巡って、異なる領域で活躍している人々が一堂に会し、刺激的な論戦＝バトルを交わす場を設けてみたい。そこでの意見のぶつかり合いのなかから、これからの「空間の自由」の可能性を展望したい。

本日のシンポジウムでの議論を通じて、ご参加いただいた皆さまが、それぞれの仕方で「空間の自由」について体感していただければ幸いです。

阿部潔 (あべきよし)

主催

関西学院大学 21世紀 COE プログラム
せんだいメディアテーク

